

生活支援体制整備事業 志木市のいま

～市内の小学生が思い描いた未来の志木市～
困っている人に「大丈夫ですか？」と声をかけられる、
困りごとのある人が「助けて」と言える地域に



《第1層（市全体の支え合いづくりを考える）》

市全体の共通テーマ「困りごとを抱えた人に必要な情報を届ける」「支え合いの意識啓発」
「住民が気軽に集える居場所を拡充する」というテーマで協議を進めています。

①生活支援情報の発信・支え合い意識の啓発について



普段から人と関わり、支援をしている人が、困りごとを抱えた人を見つけた時に適切な相談先を教えることができるような心強い冊子があったらいいなあ…

「志木市“地域とつながるシート”生活支援情報一覧」を作成！
ボランティア団体、町内会役員、民生委員・児童委員へ配布 ✨



お互いのことを知り合える機会を増やしていこう！

相手を知って、声をかけ合える関係づくりを進めるため、
令和4年度にカードゲーム体験会を実施。



②地域の居場所づくりについて

*『男性向けの居場所づくり講座』



住民が気軽に集える場所、男性も集える場所を増やそう！

既存のサロンなどを活発化させよう！

*『地域のベンチ作り』



*大人のビタミンクラブ『地域活動体験会』

活動がマンネリ化、停滞してしまっている団体に、コロナ禍でも活発に活動している団体や活動を紹介し、活動を取り入れてもらおうという狙い。

令和4年度に宗岡地区編、令和5年度に志木地区編を開催。多数のサロンや町内会が体験した活動を導入！
令和5年度の総福まつり編では、483人の地域住民の皆さんが地域活動を体験！



生活支援体制整備事業 志木市のいま

≪第2層≫

本町圏域“本町結の会”

本町では主に圏域内で活動できる場所が少ないことを地域課題とし、サロン活動を行うことができる場やすでに行っている活動の一覧化・周知方法などについて協議体（本町結の会）で話し合っています。2～3か月おきに開催し、参加団体の中で好事例となる取組があった場合は、他の団体でもそれを取り入れることができるよう、それぞれの団体の活動に関する情報交換も行っています。また、この活動をきっかけとして“本町結の会”のことも知られることで、参加メンバーを増やしたり、地域活動の担い手を見つけていけるようにしたいと考えています。



柏町圏域“柏町いきいき応援団”

月1回程度協議体（柏町いきいき応援団）を開催し、①介護予防の推進、②地域づくり、③助け合いの仕組みづくりを3つの柱として話し合い、さまざまな取組を行っています。

① 介護予防の推進「元気な高齢者は担い手候補に、自分ができることで社会参加を」

＊柏町ぞうきんプロジェクト「ちくちくカフェ」

月に1回第1火曜日開催。寄付してもらったタオルで雑巾を作ったり布小物を作ったりしています。雑巾は防災備蓄用や保育所学校などに贈呈しました。

＊ラジオ体操や百歳体操、通いの場の立ち上げ支援(中道児童公園ラジオ体操、水谷東百歳体操、宝幢寺友引会など)



② 地域づくり「幅広い世代に地域に関心をもってもらうための交流イベント等の企画開催と参加協力」

＊柏町住民フォーラム

令和元年度 「柏町在住の作家松原惇子氏の講演と助け合いゲーム」

＊「柏町再発見！わくわくウォークラリー」

コロナ禍でなかなか遠くに行けなかった時期に、ウォーキングしながら柏町の良さを再発見してもらおうという企画。子どもから高齢者までのべ300人が参加。

＊地域の夏祭りやクリスマスマーケットなどのイベントに参加し、活動の周知やちくちくカフェで作ったハンドメイド品を販売。



③ 助け合いの仕組みづくり

＊地域の個別課題解決に向けて、いきいき応援団を中心にボランティア活動を実施。

＊柏町支え合い隊（仮称）の立ち上げ準備中。

＊令和5年度 柏町住民フォーラム

「お互いさまで助け合えるしくみをつくるために何ができるか」

（令和6年3月30日開催）



館・幸町

協議体参加者から各団体の活動状況を聞きながら活動における課題などを抽出し、地域活動が活性化するように支援を考えています。年に1回、講演会を開催しており、地域住民に支え合いの理解促進を進めています。

*館・幸町圏域支え合い講演会

令和3年度 「コロナ禍における地域活動のすすめ方」

令和4年度 「防災という観点から地域のつながりづくり」

令和5年度 「健康に暮らしていくためには何が必要か」

(令和6年3月16日開催)

*圏域内にある保育園と体操交流会を開催

地域の高齢者と保育園の園児と一緒に体操をしたりスポーツ(モルック)をしたりすることで多世代交流を進めています。



宗岡北圏域

協議体参加者と地域の課題について話し合い、その解決に向け地域でどのような取り組みができるか考えています。

過去には、圏域内の集いの場を周知するため「むねおか元気会」というイベントを開催しました。

現在は、買い物等の際に移動手段がないことに課題を抱えた人やサービスがあっても知らない人が多いのではないかという話から、移動販売の周知や情報の取得手段としてスマホ教室の開催などについて検討を行っています。

また、水害被害が多い地域であることから、災害で困った時、誰に助けを求めるのかを考えるきっかけとなるよう、「防災」をテーマにした、地域のつながりづくりを進めるイベントの開催を検討しています。



宗岡南圏域

圏域内の資源を住民の皆さんにも見てもらえるよう、ふれあいサロン Reiwa や障がい福祉サービス事業所ソラシドキッチンなどで、3か月おきに協議体を開催しています。

“おひとりさま”の見守りや地域活動の周知方法、ボランティアの担い手の問題などについて話し合いを行っています。

幅広い意見の交換ができるよう、今活動している方だけでなく地域活動に興味のある方にも気軽に参加してもらえるような、風通しの良い協議体をめざしています。

